

幼児教育長期派遣通信 1 学期号

発行 令和8年7月17日

呉市立白岳小学校 沖川 めぐみ（派遣園：広島大学附属幼稚園（東広島園舎））

幼児教育長期派遣研修では、幼児教育を実際に体験し、幼児教育や幼保小接続についての理解を深めています。1 学期号では、園で子供たちの生活や遊びを通して5つの力がどのように育まれているかについて、具体的な事例を紹介します。

1 1 学期の研修内容

- (1) 園内研修→保育補助を通して園児観察、研究日に参加
園内外環境整備、園行事参加、保育カンファレンス
幼児教育アドバイザー訪問による幼児理解の研修
- (2) 園外研修→所属校において1年生の授業参観、長期派遣研修報告会①
幼児教育理解に係る研修会、接続に係る研修会

2 研修を通して

① 5つの力の育ちの事例から学ぶ、保育者の関わり

わたしたちの魔法かしら？

うごく力



やりぬく力

遊びを深める
環境構成（道具の充実）



人とかかわる力

思いを受け止め、
共感する保育者の援助



感じる・気づく力

雨の日が続いてなかなか晴れないことを気にかける子供たち。「水を100万溜めたら晴れるかもしれない」と考え、晴れを呼び込もうと何度も水を運びます。水がいっぱいになった時、偶然日が差し込み、その瞬間、みんな大喜び。さらに、大きなスコップの登場により、もっと水を溜めたい、流れをつくりたいという思いが芽生えます。そして、ぐるり一周する道が出来ました。そこに水が流れた時は、自分たちの思いが形になったことへの大きな達成感が生まれました。

水を100万溜めたら天気が晴れるのではないかという子供の思いを尊重し、たらいに十分な量の水を準備しておきます。

また、水を運ぶ遊びが広がる中で、子供達の活動がより豊かになるようにと“大きなスコップ”を用意したところ、新しい道具との出会いが刺激となり、遊びは次第に“工事”へと発展しました。

子供の「水を入れれば晴れる」という子供ならではの自由な発想を否定せず、その思いに寄り添いながら共に空を見上げて期待を寄せたり、晴れた瞬間をいっしょに喜んだりすることで、子供の「もっと試してみたい」という思いを育てていました。

ほし組とうみ組の竹も！！

やりたいができる
環境構成

達成感をもたせる
保育者の援助

うごく力

やりぬく力

考える力

人とかかわる力

年中まで竹を準備してもらっていた経験から、ほし組とうみ組も竹が必要だと考え、そら組のみんなで取りに行くことに。太さや長さを確かめながら、「これが1番長くて大きいからそら組のだね。」「これが中くらいだから、うみ組だね。」と自分たちで竹を選びます。それから、声を掛け合いながら力を合わせて竹を園まで運びました。

「(年長として) 小さい組さんの分の竹も取りに行きたい」という子供たちの思いに寄り添い、その「やりたい」「できる」が実現できるように、話し合いの場を設定しました。

竹を取りに行った後、竹の端材に子供が興味を示したため、保育者はいろいろな長さや状況の竹を用意しました。子供たちは、自ら竹を加工して、コップを作るなど、遊びを発展させていました。

竹を持って行くと、先生や年少・年中の子供たちから「ありがとう」「助かったよ」「そら組さん、すごいね。」と声をかけてもらい、そら組の子供たちは自分たちの働きが役に立ったことを実感し、やり遂げた充実感を感じることができました。

② 他にもあります！！小学校に生かしたい「環境構成」と「保育者の援助」の一例

・ 挑戦し続けられる環境構成・・・子供が自分に合った遊びや活動を選び、試したり工夫したりしながら取り組めるように環境を整える。

挑戦する過程で「できた」「わかった」という気持ちを味わい、自分の成長を感じられるような場を大切にする。

・ 挑戦を支える見守りの援助・・・保育者は子供の主体的な取り組みを妨げないように、必要以上に手を貸しすぎず見守りを中心に関わる。

子供の小さな変化を丁寧に受け止め、声をかけたり一緒に喜んだりしながら、安心して挑戦を続けられるよう支える。

3 まとめ 小学校教育への接続に向けた課題

研修を通して、子供たちは自分の好きな遊びを選択し、主体的に活動していることが分かりました。また、保育者は子供の興味・関心、保育の意図に応じて環境を構成することで、遊びが豊かになるように支えていることを実感しました。こうした幼児期の学びを小学校へどのようにつないでいくか、今後も研修を通して探究を深めていきたいと考えています。

〈乳幼児教育支援センターより〉

幼児教育施設では「環境を通して行う教育」が基本とされ、その環境を意図的に構成するのは保育者です。保育者は一方的に意図を押しつけるのではなく、幼児理解を基に園児の主体的な姿が見られるようバランスをとりながら構成します。園所参観の際には、教師の関わりや環境と幼児の姿を一緒に見て理解を深めましょう。